

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

社会・公民 科目 公共

教科： 社会・公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1～3組・5～8組：小森 ）（ 4組：今村 ）

使用教科書：（ 新版公共【数研出版／公共713】 ）

教科 社会・公民

の目標：

【知識及び技能】

広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につけることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力等を身につけることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

現代社会が抱える諸課題について主体的に学び、考え、自らのキャリアに生かそうとする姿勢を身につけることが

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけることができる。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけることができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通して社会課題を見出だして考察した結果や自らの考えを、積極的に発表・説明することができるようにする。	・一人1台端末の活用 (毎授業の導入に位置づけ) ○ニュースを読む、活用する、 考察する、共有する	【主体的に学習に取り組む態度】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述することに対し、積極的に取り組むことができる。			○	0
	B 公共的な空間をつくる私たち 【知識・技能】 伝統や文化の歴史や地域ごとの特色などの学習を通じて、「他者理解」「価値観の尊重」の重要性について理解することができる。自らが形成するキャリアと社会の結びつきの大きさについて理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 話し合い活動や協働学習を通じて、社会生活・集団生活における他者理解・尊重の重要性について多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人1台端末の活用 等 ○「おとな」になるとは (18歳成人、選挙権、青年期、 キャリア形成) ○個人の尊厳、多様性 ○伝統と文化、異文化共生	【知識・技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解することができる。 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○		8
	C 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識・技能】 環境問題や生命倫理など現代社会の諸課題を通して、「公正」「人間としての在り方生き方への探求」に関する見識を深めることで、より良く生きることの大切さを理解することができるようにする。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料からよりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができるようにする。 【思考・判断・表現】 個人及び社会全体の幸福や公正などの視点を持ち、各事象におけるより良い解決方法を思考・判断する活動を通じて、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人1台端末の活用 等 ○幸福、正義、公正 ○環境問題、エネルギー問題 ○生命倫理	【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解することができる。また、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解することができる。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○		10
	D 公共的な空間における基本的原理 【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解することができるようにする。 話し合い活動や協働学習を通じて、他者の意見を尊重し、公平・公正な意見・利害の調整を図ることの重要性を理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 個人及び社会全体の幸福や公正などの視点を持ち、各事象におけるより良い解決方法を思考・判断する活動を通じて、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現することができるようにする。 定期考査	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人1台端末の活用 等 ○生命の尊厳と平等 ○社会への参画 ○基本的な人権が保障されるまで ○民主政治の基本的原理 ○法の支配と人の支配 ○自由と責任、権利と義務 ○世界の政治体制 ○日本国憲法	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解することができる。 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○		8
				○	○	○	2

